

よき時を思う

著者名： 宮本 輝
出版社： 集英社

いつか、愛する者たちを招いて晩餐会を——九十歳の記念に祖母が計画した、一流のフレンチシェフと一流の食材が織りなす、豪華絢爛な晩餐会。

子どもたち、孫たちはそれぞれの思いを胸にその日を迎える。徳子おばあちゃんは、なぜ出征が決まった青年と結婚したのか？夫の戦死後、なぜ数年間も婚家にとどまったのか？そしてなぜ、九十歳の記念に晩餐会を開くことにしたのか？孫の綾乃は祖母の生涯を辿り、秘められた苦難と情熱を知る——。一人の命が、今ここに在ることの奇跡が胸に響く感動長編！

罪の境界

著者名： 薬丸 岳
出版社： 幻冬舎

無差別通り魔事件の加害者と被害者。決して交わるはずのなかった人生が交錯した時、慟哭の真実が明らかになる感動長編ミステリー。「約束は守った……伝えてほしい……」それが、無差別通り魔事件の被害者となった飯山晃弘の最期の言葉だった……。

名探偵のままでいて「このミステリーがすごい！」

著者名： 小西 マサテル
出版社： 宝島社

第21回『このミステリーがすごい！』大賞受賞作 
「認知症の老人」が「名探偵」たりうるのか？
孫娘の持ち込む様々な「謎」に挑む老人。
日々の出来事の果てにある真相とは——？
認知症の祖父が安楽椅子探偵となり、不可能犯罪に対する名推理を披露する連作ミステリー！

天路の旅人

著者名： 沢木 耕太郎
出版社： 新潮社

「この稀有な旅人のことを、どうしても書きたい」。「旅」の真髄に迫る、九年ぶりの大型ノンフィクション。第二次大戦末期、敵国の中国大陸の奥深くまで「密偵」として潜入した若者・西川一三。敗戦後もマ僧に扮したまま、幾度も死線をさまよいつつも、未知なる世界への歩みを止められなかった。その果てしない旅と人生を、彼の著作と一年間の徹底的なインタビューをもとに描き出す。著者史上最長にして、新たな「旅文学」の金字塔。

タングル

著者名： 真山 仁
出版社： 小学館

シンガポールを舞台に描く熱き人間ドラマ追い詰められたニッポンは再びライジング・サンとなれるのか！？

地球温暖化を防ぎ、世界を変える可能性を持つ光量子コンピューター開発の第一人者である東都大学早乙女教授は、開発に前向きでない日本を見限りシンガポールの地で研究を進めていた。モノ作り大国だった頃の天才的な技術者を募り、シンガポールの若者達を教育しながら前進する早乙女研究所。実現化が見えてきた時に利権を狙う大国たちが介入しようとしてきて……。

そんな中、ニューヨークのファンドから、あの男が早乙女教授の前に姿を現した……。

川のほとりに立つ者は

著者名： 寺地はるな
出版社： 双葉社

カフェの若き店長・原田清瀬は、ある日、恋人の松木が怪我をして意識が戻らないと病院から連絡を受ける。松木の部屋を訪れた清瀬は、彼が隠していたノートを見つけたことで、恋人が自分に隠していた秘密を少しずつ知ることになる——。

教誨

著者名： 柚月 裕子
出版社： 小学館

女性死刑囚の心に迫る本格的長編犯罪小説！
少女二人を殺害した女性死刑囚が最期に遺した言葉——

「約束は守ったよ、褒めて」吉沢香純と母の静江は、遠縁の死刑囚三原響子から身柄引受人に指名され、刑の執行後に東京拘置所で遺骨と遺品を受け取った。響子は十年前、我が子も含む女兒二人を殺めたとされた。

鎌倉駅徒歩8分、空室あり

著者名： 越智 月子
出版社： 幻冬舎

誰かと生活することは、めんどくさいけどあたたかい。鎌倉駅から徒歩8分。木々と小鳥に囲まれたシェアハウスには、今日もカレーとコーヒーの香りがいっぱい。まだ空室アリ。男手一つで育ててくれた父が死んで、鎌倉のカフェを引き継いだ香良。ある日離婚した親友が押しかけてきて、いつの間にかシェアハウスをはじめめることに！ 次々やって来る入居者たちは、みんなちょっとワケあり。慣れない他人との共同生活に、イラっとしたり文句を言ったりもするけれど……。家族だから言えない、家族だから甘えられない。そんなひとりぼっちになった住人たちが見つけた新しい形のきずなに、あたたかい気持ちになる1冊。